

信仰強制「虐待」法整備訴え

旧統一教会元2世信者らが法整備訴え



世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の信者を持つ親のもとに生まれた宗教2世の当事者らが27日、宗教2世の子どもへの虐待を防ぐ法整備や相談支援を求めて、厚生労働省で記者会見を開いた。元2世信者の一人は「思想信条によるものでも他の虐待と同様に扱ってほしい」と訴えた。

当事者によると宗教2世の子どもは信者を強制され、心理的・身体的虐待を受けていた。厚生労働省で記者会見を開いた。元2世信者の一人は「思想信条によるものでも他の虐待と同様に扱ってほしい」と訴えた。

当事者によると宗教2世の子どもは信者を強制され、心理的・身体的虐待を受けていた。厚生労働省などに要請などを求め、近く岸田文雄閣相や厚労省などに要請などを求め、近く岸田文雄閣相や厚労省などに要

められ、心理的・身体的虐待などの被害が多発せられてくるところ。児童相談所などに相談しても「宗教の問題」として対応してもらえない実態があるといつた。

当事者は、「児童虐待防止法を改正し、「思想信条による開わる虐待でも一般的の虐待と同様に救済する」「恐怖による行動の制限・強制を心理的虐待として扱う」とことなどを求め、近く岸田文雄閣相や厚労省などに要

望書を提出する考えだ。

法整備では、虐待の根本的原因にカルト組織があること、信者に對して他人に虐待行為を行うような誘導や指導をするいじ用事罰を科したり、児童自らが相談できるよつた相談機関を整備したりする」とも必

要だと指摘した。

会見した旧統一教会の元2世信者の小川さゆりさん（仮名）は「私たちあはたくさ

んの深い悔を負っている。

これは親子・家族間だけの問題ではない。早急に救済をしてほしい」と話した。

朝5時に儀式寝坊なら朝食抜き

「今日は井田ある？」

女性は毎日、父親の財布を確認するのが習慣だった。お金がない不安やストレスを和らげようとした。

父親はアルバイトを二つ三つ、掛け持ちしていた。母親が海外布教に行く費用の捻出のためだった。

女性は家でひとりぼっち。深夜も父親の帰りを待っていた。小学2年の頃から、父親が海外布教に行く費用の捻出のためだった。

女性は数年前、母親にライ

ンを送った。既読がついた返信は何もなかつた。親の愛情もまたかつた。

女性は条件付でだったんだな

うを感じました」。女性は「今日は井田ある？」

女性は毎日、父親の財布を確認するのが習慣だった。お金がない不安やストレスを和らげようとした。

父親はアルバイトを二つ三つ、掛け持ちしていた。母親が海外布教に行く費用の捻出のためだった。

女性は家でひとりぼっち。深夜も父親の帰りを待っていた。小学2年の頃から、父親が海外布教に行く費用の捻出のためだった。

女性は数年前、母親にライ

ンを送った。既読がついた返信は何もなかつた。親の愛情もまたかつた。

女性は条件付でだったんだな

の問題だったのか、理由はいまいちわからない。

週1回、朝5時に起きる儀式に寝坊する朝食は抜いてしまって、大人に相談する」とは思わなかつた。

「これが普通だと思っていました。子どもの時期は親に大きく依存せざるを得ません。子どもを救済できません。法律や仕組みは必要だと思います」

厚生労働省は、信仰を理由とした行為でも児童虐待にあたる場合はあり得るとして「消極的な対応を取ります。子どもの側に立つ判断すべき」だとの通知を出した。旧統一教会に限らず、ほかの宗教でも医療や進学の機会を巡って子ども

の権利侵害の可能性を指摘する声はある。

見した小川さゆりさん（仮名）＝27日、東京・霞が関